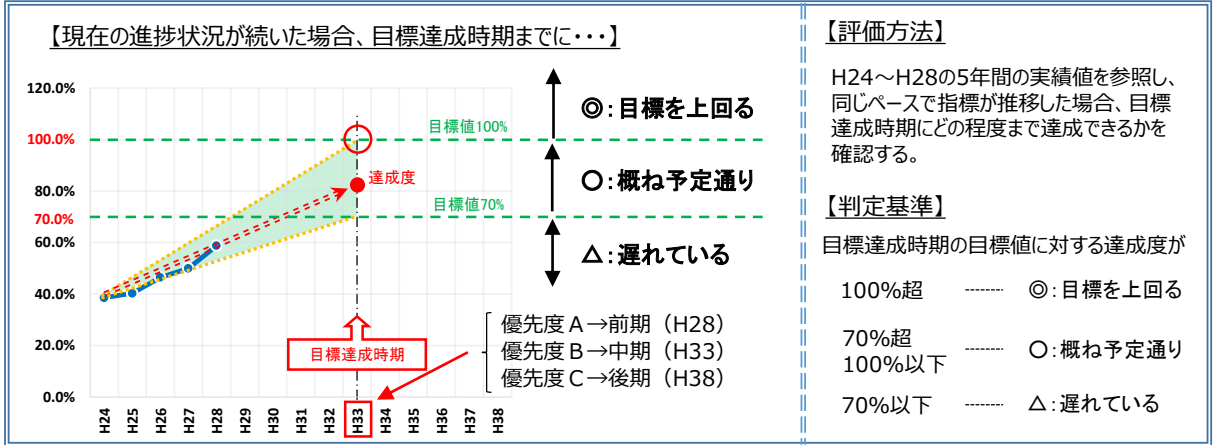


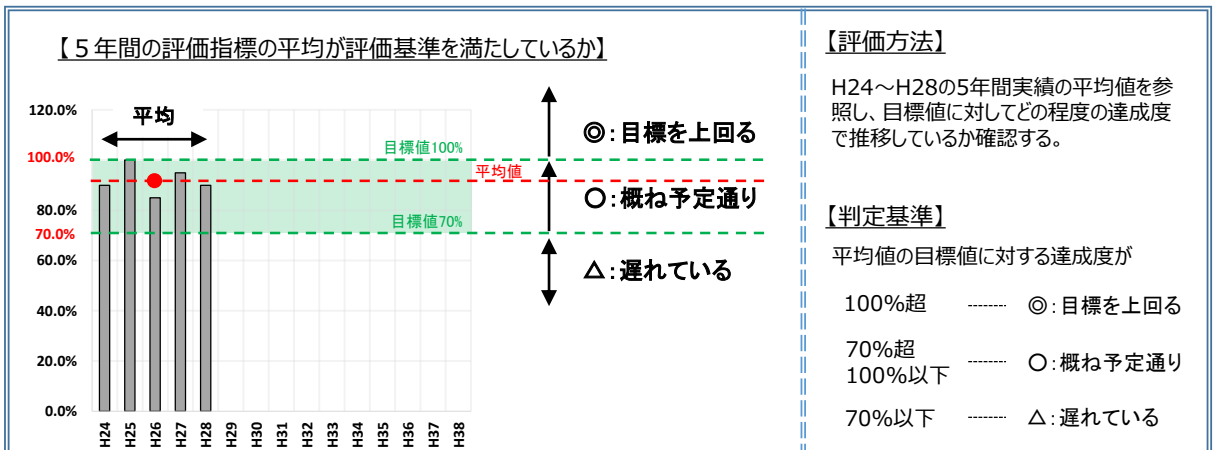
評価方法について

■実績評価指標の評価方法

①評価指標の増加状況により進捗状況を確認できるもの



②評価指標が一定の値（以上）となるもの



③その他

【①、②にあてはまらないもの】 ⇒ 各々の特性に合わせた評価を実施する

例：取得水利権に占める安定水利権の割合

ハツ場ダム等の水資源開発施設は、事業の完了をもって100%となるものであり、完成年度までは指標値が横ばいとなる。

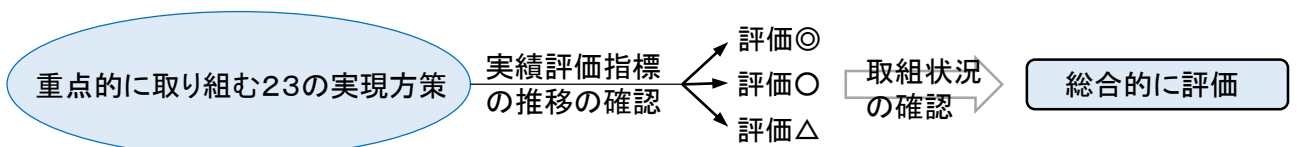
⇒ 評価時点で100%以上となっているかで評価を行う。(◎、△の2段階評価)

例：施設能力の最適化に向けた検討の実施状況

施設能力の最適化は、将来の水需要予測の動向に合わせて適宜計画を修正していくものであり、達成度を評価するのは困難。

⇒ 将来の水需要予測にあった計画となっているかで評価を行う。

■実績評価の流れ



その他、業務指標の推移や外部環境の変化を参考に、ビジョンの方向性や今後の取組の方向性を確認